

No.2581

一切経山・栗駒山・安達太良山

平成 29 年 10 月 6 日(金)～9 日(月)

参加者：鳴原(L)、山城(記)、真鍋、右田(記) ※岡本(栗駒山)

10 月 5 日(木)夜 8 時に新大阪を鳴原車で出発。名神から北陸道、磐越道を経由して片道約 800km を走行し、磐梯山 SA に無事到着。車内で仮眠を取る。

10 月 6 日(金)磐梯吾妻スカイラインを経由して浄土平(登山口)を目指す。途中、「ワアー」とか「オー」とか歓声が上がる。東北に入って初めての素晴らしい紅葉が出迎えてくれる。浄土平に 7 時過ぎに到着。広い駐車場に数台の車があるのみ。吾妻小富士が美しい。

浄土平を 7:40 に出発。見晴らしの良い草原のようなところでススキと紅葉と青葉のマッチングが素晴らしい。途中、ブルーベリーを味わう。ここのブルーベリーは大粒で美味。後から来る女性陣は、ワアーワアー言ってみさぼり食べているのかなかなか登ってこない。

この山はなだらかで非常に登りやすい。汗もかかずに 1,949m の一切経山頂上到着(9:30)。特に特徴のない頂上だが奥に進むと「魔女の瞳」と呼ばれているらしいコバルト色のグラデーションの五色沼という火口湖が望める。美しい。鳴原さんが情報を仕入れていたので、運よく眺めることができたが、下調べをしていなければわからないだろう。酸ガ平小屋まで戻り、昼食。ここから、東吾妻山を目指す。湿原の中の木道を池を巡りながら気分よく歩く。やがて樹林帯の登りとなる。なだらかだが結構長い登りをやり過ぎすと東吾妻山 1,975m に到着(11:40)。ここから同じ道を引き返して浄土平に戻るか、先に進んで周回コースで戻るか思案したが同じ道に戻っても面白くないので周回コースを取ることにする。これが軽い過ちであったことに気づくのはしばらく下山してから。この下山路は悪路で長い。

最後は車道歩きのおまけ。浄土平の手前で地元の方らしきご夫婦に「大変だったでしょう。」と笑われました。でも、全体的に変化に飛んだ景色の良い楽しいコースでした。ブルーベリーもね。浄土平 14:40 到着。(以上右田記)



(ブルーベリーの紅葉)



(一切経山途中からの眺め)



(吾妻小富士)



(一切経山頂上)



(五色沼(魔女の瞳))



(東吾妻山途中からの眺め)

10月8日(日) 晴れ 東栗駒山(1434m)～栗駒山(1627m) 山城(記)

栗駒山の駐車場『いわかがみ平』の10キロ程下『行者滝公園』の東屋をテントにして快適に就寝。だが..すぐ横の車道を頻りに車が登って行く。ひょっとしたら駐車場が満杯になりそう～。眼がさえて寝てるところではない。夜中の1時、思いは皆同じだった。

即テント撤収し、『いわかがみ平』に急いだ。無事に駐車でき車内で仮眠、ご来光で眼が覚める。朝食は昼用のおにぎりを食べ出発する。

登山口から沢道に行く。スパッツが必要な悪路であるが面白い！ 足もとに気をとられながらひたすらに進むうち、いきなり大きな沢に出会う(新湯沢川) 綺麗なナメが幾つも続く。水量も程よく好い感じ！ 約100m程の遡行だったが靴に付いた泥も流してくれた。もっと沢歩きしたいのに、なだらかな稜線に飛び出た。



(いわかがみ平ご来光)



(いわかがみ平登山口)



(新湯沢川のナメ)

わあ～！～！見渡す限りに広大な紅葉に眼が奪われる。ナナカマドやドウダン、ミネカエデの赤、黄、緑と陽に映え華やかなである。『亜高性低木林』と云われる植生。『東栗駒山』の北西側には主峰『栗駒山』がなだらかな稜線で連なっている。栗駒山頂上までの階段道は(土砂流出止め)何ともつらいが周囲の紅葉の美しさに見とれながら登る。



(栗駒山中腹の紅葉)



(東栗駒山から栗駒山)



(栗駒山山頂より鳥海山)

しかし北側の須川温泉からのコースとはがらっと違う山容です。頂上に着き、みんなで山座同定を楽しむ。鳥海山、月山、焼石、蔵王連峰、朝日連峰、早池峰山、と奥羽山脈のほぼ中央部に位置するこの山は360度眺望の山頂でありました。

行程：スタート6:45... (東栗駒コース)... 沢出合... 8:19 東栗駒山 8:50... 9:30 栗駒山
10:30... 下山... (中央コース)... 11:19 駐車場

※ 駐車場は無料、少し下の駐車場からのシャトルバスも無料、車誘導など警備員の経費も必要だろうに...紅葉期間のみでも徴収してもいいのでは...と思いました。

10月9日(月)晴れ。栗駒山の大渋滞を目のあたりにして、前日から安達太良山登山口にテント泊。今日は大阪まで帰らないといけないので早朝発の予定。4時頃かふと目が覚めると外から「お客さん、こんなところにテント張ってもらったら困るんですが。」の声。すかさず真鍋さんが「すぐ撤収します」と応じる。声の主は、福島のホテルから駆け付けた岡本さん。真鍋さんのマジな対応に一

同大笑い。山城さんと真鍋さんはロープウェイ、岡本さんは先発したので、6:10 鳴原さんと二人で登山口出発。ぬかるんだ樹林帯の道を登り、7:00 五葉松平へ到着。そこからしばらく平坦な樹林帯の道を進むと「この上の空がほんとの空です」の木柱が現れる。樹林帯を抜けると頂上まであと少し。と思っていたら頂上から下ってきた岡本さんと遭遇。記念写真と握手を交わし、別れる。5分ほどで安達太良山 1,699mの頂上に着く(8:10)。まだ、人は少ない。頂上から見下ろす紅葉よりも薬師平から見上げる紅葉が最高。少し、ガスってきたので下山する。ロープウェイが 8:30 の始発より早く動き出したようで、すれ違う登山客の多さで大変。どこも紅葉の最盛期で込み合っている。薬師平に着くともものすごい人だかり。早々に下山する。ぬかるみも乾き、快調に下り、10:25 登山口着。帰りの高速は名神の事故渋滞 25 kmの影響で湖西道も渋滞したが、ほぼ予定どおりの時刻に無事帰阪できた。

二日目が、天気予報どおり雨で移動日とたったが、そのほかは、好天に恵まれた。私自身は磐梯山以来の東北の山で、紅葉シーズンは初めてだったので、山全体の紅葉に驚かされた。今回の山行ですっかり東北の山のファンになってしまった。鳴原さんには全行程を一人で運転していただき大変お疲れ様でした。ありがとうございました。(以上右田記)



(安達太良山)



(途中の紅葉)



(薬師平からの紅葉)